

市民助け合いネット

《第7号》

仲間通信

発行
NPO法人 市民助け合いネット
代表 片岡 興
〒270-0114 流山市東初石1-112-5
☎・FAX 04-7153-5733

体験を重ね、サービス充実へ

3年目に入った 「市民助け合いネット」

和気あいあい會員交流会

去る五月十四日(日)、東初石二丁目の公園(事務所隣の隣)で、今年度第一回目の「市民助け合いネット」會員交流会が野外パーティ方式で開催されました。

当日は、五十一名の會員の方々(男性二十一名、女性二十名)が一品持ち寄りで集まりました。会場には事務局で用意した「焼きそば」(100円)、「ビール」(100円)、「ウーロン茶」(80円)と、「女性スタッフが手作りした「トン汁」(100円)などが並び、雰囲気盛り上げました。

會員の皆さんは、十人ごとに設置されたテーブルにそれぞれ集まり歓談しました。今回初対面の方も多かったのですが、

日頃の助け合い活動の苦労話や体験談など話題も豊富で、予定していた二時間の交流会は盛況の内に終わりました。

次回からは、感動した体験や失敗談などを発表できる機会にもしたいと考えています。

大盛況の
會員交流会



真剣に介護・介助の勉強

「市民助け合いネット」では、去る四月十五日(土)流山ケアセンターにおいて、會員向けの「介護・介助の基礎知識と技術」の研修会を開催しました。

当日は提供會員二十六名が参加、日頃の助け合いの活動に役立てようと、介護と介助の基礎を学びました。ご指導いただいたのは江戸川大学講師の濱田竜也氏で、参加した會員の皆さんは、「車椅子の取扱いの基本」や「自動車の乗り降りや階段での介助」など、基礎と実技を中心に意欲的に受講しました。

受講後、参加者からは「今まで何も知らなかったの、大変参考になった」「活動だけでなく、家族のサポートにも大いに役立つ」「これからの活動に自信がついた」などの感想が寄せられました。今後も、このような機会をつくり、よりよいサポートサービスを通じて、質の高い「助け合い」を実現していきます。



車椅子の取扱い方を実習

「外出支援」謝礼額を改訂します。

行き先が市外の場合

今年の三月に、構造改革特区で認可を受けた「福祉有償運送」。スタートして順調に推移して三か月が経ちましたが、提供会員が利用会員から受け取る謝礼額に、市外の場合に認可条件に合わない部分が出てきましたので、改訂をすることになりました。(市内の場合は変更なし)

利用券の券種が変わります。

この認可は、『料金(私達は「謝礼」という)は、おおよそタクシーの半額を目安に設定する』ということが認可条件の一つになっています。

「市民助け合いネット」では、独自で決めた基準で助け合いの謝礼額を「外出支援」にも適用してきましたが、条件の「タクシ

ーのおおよそ半額」より高くなる場合があることがわかりました。

そこで、福祉有償運送による支援の謝礼額は、市外の場合に限りこれまでの基準による計算をやめ、個々に異なる発着地の距離に応じた額を算定することとしました。具体的には、その都度利用会員と提供会員に説明しながら行っていく予定です。

これまで利用券の券種は「6点券・3点券・2点券・1点券」の四種類でしたが、計算が複雑なため、このたび「5点券・2点券・1点券」の三種類に変更しました。

一冊の合計点数は今までどおり1000点です。今後、不具合がでた場合は皆さんのご意見を参考に検討します。

弘田 淳子

みんなに元気をくれる九十二才

松ヶ丘にお住いのKさん(女性)、昨年六月頃、脳梗塞で流山中央病院に入院されていました。幸い軽かったですものの後遺症が残り、歩行が困難になりました。

ことから、介護保険制度のケアマネージャーさんを介して「市民助け合いネット」に、車での送迎と院内の付添いの依頼があり、引き受けらるようになりました。担当したのは提供会員のIさん(男性)、娘さんとIさん(男性)、娘さんとKさんは月一回の通院を実際の息子に会えるかのように楽しんでされています。Kさんのお宅には週一回元気をもらっています。

浜松に住んでいる娘さんが仕事が休みの週末にはお世話に來られています。通院の付添までは出来ない

同年配の優しい方なので、然と人が集まって、なごやかなムードをつくっているとのこと、Kさんの前向きな姿勢に回りの人みんなが

平成17年度会計決算

平成十七年度の会計決算が左記のようにまとまり、五月十三日に行われた社員総会で承認されました。損益ベースでは、コピー機と自動車の「減価償却費」を計上したため33千円の赤字となりましたが、収支ベースでは33千円の黒字でした。

貸借対照表

(H18. 3. 31現在) <概冊>

項目	金額
資産	
現金・預金	1,007
車両運搬具・機器	429
資産の部合計	1,436
負債	
借入金	1,287
預り金(利用券)	
負債の部合計	1,287
資本	
【剰余金(欠損金)】	
当期末処分利益(欠)	149
うち当期利益(欠)	△323
資本の部合計	149
負債・資本合計	1,436

平成17年度収支決算書

(H17. 4. 1~H18. 3. 31) <概冊>

収入の部		支出の部	
項目	金額	項目	金額
入会金・年会費収入	117	事業費	2,984
活動収入・雑収入	1,002	(預り金清算・交還・広告宣伝費など)	
助成金・寄付金収入	336	管理費	1,129
預り金収入(利用券)	2,921	(人件費・雑・通読・水道光熱費・事務用品費・保険料など)	
当期収入合計	4,376	当期支出合計	4,113
前記繰越収支差額	900	(当期収支差額)	(263)
収入合計	5,276	次期繰越収支差額	1,163